

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	日本電設工業株式会社		
事業所の名称	日本電設工業株式会社 東北支店 仙台支社		
事業所の所在地	宮城県仙台市若林区六丁の目東町4番35号		
主たる事業	設備工事業		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2020 年度	基準排出量	35.0 t-CO ₂	基準原単位	0.03317
		目標年度	2022 年度	目標排出量	0.0 t-CO ₂	目標原単位
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	24.0 t-CO ₂	排出原単位	0.02274
			削減率	31.42 %	削減率	31.44 %
	排出量等の増減理由	第一年度のうち4月～11月については旧社屋の電力使用量となり横ばい、若干の増(コロナの影響による)であった。12月以降については、新社屋(ZEB化)での業務開始となり電力使用量の大幅減の実績となった。太陽光自家発電による電力使用及び空調、LEDなど高効率機器を採用したことにより改善されたことが推測される。				
	第2年度	2022 年度	排出量	25.0 t-CO ₂	排出原単位	0.02369
			削減率	28.57 %	削減率	28.58 %
	排出量等の増減理由	新型コロナウイルス感染症の予防対策実施により定時換気を実施したことで、冷暖房の効率が下がった。				
	第3年度	- 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
		削減率	%	削減率	%	
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	53 %	目標年度	73 %
	第1年度	80 %	実施状況の説明等	新社屋(ZEB化)により高効率機器の導入、窓の二重ガラス(LOW-E複層ガラス)、太陽光発電設備(自家消費)を採用した。
	第2年度	86 %	実施状況の説明等	100%ZEB化となって1年経過し、デマンド監視にて収集した電力の使用状況を確認し、使用量が多い部分について検討を行った。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

様式第2号

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	窓の断熱性向上		実施済
	再生可能エネルギーの導入		実施済
	外部機関による省エネ診断		未実施
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進	出勤、帰宅時の公共交通機関利用の促進	実施済
	廃棄物削減対策の実施	産業廃棄物の適正処理の推進。電子マニフェスト(産業廃棄物管理票)システムを導入して、法令順守と業務効率の向上を図る。	実施済
	森林の保全・緑化の推進	宮城県電業協会主催の「海岸林再生みんなの森林づくり活動」への参加	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	移転予定の仙台市内自社ビルのZEB化	実施済
	ヒートアイランド対策の実施	空調システムの高効率化	実施済